

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、21～26℃台を示し、やや低めの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網—シケのため出漁日数が少なかった。西彼地区では、マアジなどが1日1統当たり2トンの水揚げで、前週の2倍（前年を下回った）。五島奈留地区では、マアジなどが1日1統当たり1トンの水揚げ（前年を下回った）。北松南部地区では、ウルメイワシなどが1日1統当たり16トンの水揚げで、前週の1.4倍（前年並み）。
- イカ釣——スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり8kgの水揚げで、前週の5%（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり1.1トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり5kgの水揚げで、前週の13%（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり299kgの水揚げで、前週の1.9倍（前年を下回った）。
- 定置網——五島魚目地区では、シイラなどが1日1統当たり1.7トンの水揚げ。対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり45kgの水揚げ。対馬東岸地区では、マアジなどが1日1統当たり124kgの水揚げ。
- 一本釣——北松宇久地区では、イサキが1日当たり253kgの水揚げで、前週の3.3倍（前年を上回った）。
- トビウオ船曳——北松生月地区では、小トビ主体で1日1統当たり102kgの水揚げで、前週の9%（前年を下回った）。10月12日で、今期の漁を終了した。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（10/9～10/14の6日間）沖合イカ釣り船（船凍船）は、大和堆付近で操業。

沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～隠岐諸島周辺、能登半島沖～佐渡沖～山形沖で操業。

鳥取県西部（沖合船）入港船なし。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>